

高齢者に多い感染症 ～結核について～

◆結核は『昔の病気』ではないのか

現代でも、**全国で毎年1万人以上**の新しい患者が発生し、約2千人が命を落としている、**日本の重大な感染症**の一つです。

福島市では毎年20人程の新しい患者が発生しています。

◆なぜ高齢者に多いのか

・戦前戦後の時代に日本で結核が流行！

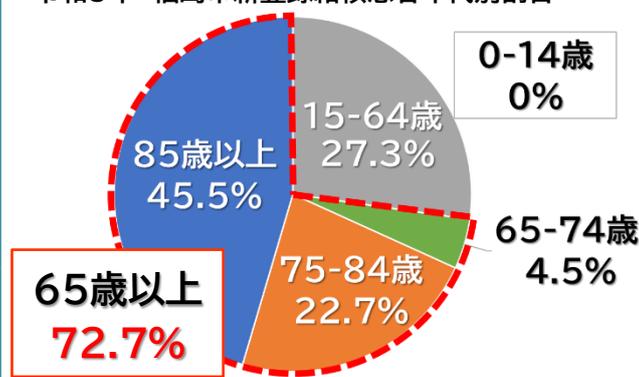
80歳の5割、85歳の6割は既に結核に感染している※とされています。

※公益財団法人結核予防会結核研究所疫学情報センター発行 結核既感染者数の推計より

・高齢結核患者の多くは、数十年前に既に結核に感染しており、年齢を重ね、**免疫力の低下により発病**したものと考えられています。

◆高齢者に多い結核

令和5年 福島市新登録結核患者年代別割合



早期に確実な治療をすれば治る病気になりました

以前は『不治の病』と言われていた結核ですが、現代の日本では、**早期発見により、通院治療で完治する病気**となりました。一方、発見が遅れて重症化すると、周囲へ感染させる恐れがあり、入院治療が必要となります。

早期発見のために大切なこと

年1回は胸部レントゲン検査を受けましょう！

- ・症状がなくても、胸のレントゲンを撮れば、結核を見つけることができます。
- ・65歳以上の方は、市民検診の肺がん検診が結核健診を兼ねています。

風邪のような症状が2週間以上続く場合は、早めに受診を！

咳 痰や血痰 微熱が続く

『疲れやすい』『息が切れる』『痩せた』等の体調不良が続く場合にも要注意。

自分のためにも、周りへ感染させないためにも、早期発見がとても大切です。定期的に健診を受ける機会のない方は、市民検診を是非ご活用ください。

発行日: 令和6年5月16日
発行元: 福島市保健所 感染症・疾病対策課 感染症対策係
住所: 〒960-8002 福島市森合町10-1
電話: 024-572-3152

